

児童相談所における児童虐待への対応状況

- 児童相談所（以下「児相」という。）における虐待相談対応件数は、高止まりの状態にある。
- 虐待の内容は、心理的虐待が増加しており、最も多い。
- 相談の経路は、警察が最も多く、家族、医療機関等からの虐待相談対応件数が増加している。

（1）児相における虐待相談対応件数

上段：(対前年度比)、下段：件

区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
県児相	(0.97) 615	(1.09) 669	(1.19) 796	(0.91) 721	(1.02) 732
岡山市児相	(0.78) 351	(1.16) 408	(1.04) 424	(1.86) 789	(0.95) 750
県計	(0.89) 966	(1.11) 1,077	(1.13) 1,220	(1.24) 1,510	(0.98) 1,482
全国	(1.06) 205,044	(1.01) 207,660	(1.06) 214,843	(1.05) 225,509	—

※令和6年度については速報値であり、今後変動する可能性がある。

※岡山市児相分は参考

（2）児相における虐待相談対応件数の内訳

上段：件、下段：(構成%)

区分	児相別				虐待の内容			
	中央	倉敷	津山	岡山市	身体的	性的	ネグレクト	心理的
R4年度	164 (13.4)	473 (38.8)	159 (13.0)	424 (34.8)	179 (14.7)	10 (0.8)	545 (44.7)	486 (39.8)
R5年度	102 (6.8)	478 (31.7)	141 (9.3)	789 (52.2)	241 (15.9)	12 (0.8)	528 (35.0)	729 (48.3)
R6年度	93 (6.3)	482 (32.5)	157 (10.6)	750 (50.6)	252 (17.0)	11 (0.8)	454 (30.6)	765 (51.6)

区分	相談の経路								
	近隣知人	保健所・保健センター	福祉事務所 市町村他	学校 保育所	家族	警察等	医療機関	児相	その他
R4年度	99 (8.1)	13 (1.1)	150 (12.3)	107 (8.8)	214 (17.5)	383 (31.4)	70 (5.7)	95 (7.8)	89 (7.3)
R5年度	118 (7.8)	8 (0.5)	142 (9.4)	208 (13.8)	200 (13.3)	579 (38.3)	77 (5.1)	82 (5.4)	96 (6.4)
R6年度	74 (5.0)	7 (0.5)	148 (10.0)	161 (10.9)	217 (14.6)	616 (41.6)	84 (5.7)	75 (5.0)	100 (6.7)

区分	主たる虐待者			対応の種類			
	実母	実父	その他	指導	施設入所等	市町村送致	その他
R4年度	764 (62.6)	384 (31.5)	72 (5.9)	1,115 (91.4)	92 (7.5)	6 (0.5)	7 (0.6)
R5年度	867 (57.4)	538 (35.6)	105 (7.0)	1,341 (88.8)	136 (9.0)	21 (1.4)	12 (0.8)
R6年度	812 (54.8)	567 (38.2)	103 (7.0)	1,326 (89.5)	122 (8.2)	21 (1.4)	13 (0.9)

※岡山市児相分を含む。(上記は、岡山市において把握した数値を含め、県計として集計したもの。)